



平成29年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月4日
東

上場会社名 株式会社ロックオン 上場取引所
 コード番号 3690 URL <http://www.lockon.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩田 進
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 赤澤 洋樹 (TEL) 06(4795)7500
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	1,266	10.2	116	△28.2	130	△19.9	90	△13.0
28年9月期第3四半期	1,149	10.0	161	△31.7	162	△31.8	103	△32.3

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 89百万円(△14.0%) 28年9月期第3四半期 104百万円(△31.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	14.31	14.28
28年9月期第3四半期	16.48	16.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第3四半期	1,483	1,251	84.4
28年9月期	1,434	1,193	83.2

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 1,251百万円 28年9月期 1,193百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年9月期	—	0.00	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	1,650 ~1,700	2.3 ~5.4	10 ~100	△96.0 ~△59.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成29年9月期の連結業績予想については、レンジ形式により開示しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期3Q	6,311,694株	28年9月期	6,310,374株
② 期末自己株式数	29年9月期3Q	45株	28年9月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期3Q	6,311,356株	28年9月期3Q	6,299,744株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが事業を展開している国内のインターネット広告市場につきましては、スマートフォン広告、動画広告の継続的拡大に加え、アドテクノロジーの進化を背景にした運用型広告がインターネット広告市場全体を牽引、平成28年のインターネット広告費は前年比113.0%の1兆3,100億円(株電通「2016年日本の広告費」)と引き続き高い成長を示すなど、広告市場のインターネットシフトのトレンドが続いております。

一方、当社グループのもう一つの対面市場であるEC市場につきましては、スマートフォンやタブレット端末の普及・進化に伴い、企業のECビジネス展開が加速しており、平成28年国内BtoC-EC市場は、前年比109.9%の15.1兆円まで拡大しています。また、全ての商取引に対する電子商取引の割合であるEC化率は、BtoC-ECで5.4%(経済産業省「平成28年我が国経済社会の情報化・サービス化に係る基盤整備(電子商取引に関する市場調査)報告書」)であり、伸びしろが大いにある分野であります。

このような良好な事業環境の下、当社グループは、企業と顧客とのコミュニケーションを自動化・効率化する「マーケティングロボット事業」を自社事業領域と定め、引き続きその拡大に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,266,767千円(前年同期比10.2%増)、営業利益は116,217千円(前年同期比28.2%減)、経常利益は130,219千円(前年同期比19.9%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は90,299千円(前年同期比13.0%減)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりとなりました。

① マーケティングプラットフォーム事業

当事業はマーケティングプラットフォーム「AD EBiS」を提供する事業であります。「AD EBiS」は広告効果測定システムを中心とした「測定」機能と、国産リスティング広告運用プラットフォーム「THREe」に代表される蓄積されたマーケティングデータを「活用」する機能の2つで構成され、一気通貫したマーケティング統合環境を提供しております。

当事業においては、「AD EBiS」で蓄積した膨大なアクセスデータと外部データを連携してデモグラフィック情報(年代・性別・地域)を提供、ウェブ上での行動履歴にユーザー属性をつなげて分析を可能にした「オーディエンスエビス」の利用拡大を進める一方、柔軟なアトリビューション分析を実現する4つの分析モデルの搭載、ブランディング広告効果を可視化する「アクション喚起率分析」の開発など、「AD EBiS」の付加価値増強に努めてまいりました。また、マーケティングイベントでのセミナー開催等広告宣伝を積極的に行ってまいりました。

その結果、売上高は916,294千円(前年同期比20.2%増)となり、営業利益は138,067千円(前年同期比4.0%増)となりました。

② 商流プラットフォーム事業

当事業はEC構築オープンソースからなるフリーミアムモデルのECオープンプラットフォーム「EC-CUBE」と、ECサイト構築の受託開発を行うサービスである「SOLUTION」で構成されております。当事業は「EC-CUBE」の開発や他社サービスとの連携による「EC-CUBE」のプラットフォーム拡充がストック収益となるビジネスモデルであります。また、受託開発の「SOLUTION」は顧客ニーズ獲得と最新技術の研究開発の役割も担い、獲得したニーズや技術を「EC-CUBE」や「AD EBiS」に還元する社内循環システムを確立しております。

当事業においては、「EC-CUBE」において、国内企業初となるFacebookページのショッピングセッション連携プラグインのリリース、人工知能(AI)など最新技術を駆使したオンライン接客サービスとの連携強化など、ネットショップのオリジナリティ実現へ更なる価値提供を目指した取り組みを進めてまいりました。一方、「SOLUTION」については、平成29年5月9日に公表したお知らせのとおり、事業の一部であるEC受託開発事業を関連会社である株式会社ラジカルオプティ及び有限会社彩に業務移管することを決定、経営資源の再配分を進めてまいりました。

その結果、売上高は350,473千円(前年同期比9.6%減)となり、研究開発案件のコスト増加により営業損失は21,850千円(前年同期は28,988千円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ49,312千円増加し、1,483,665千円となりました。主な要因は、売掛金が76,526千円減少したこと、及びソフトウェア（ソフトウェア仮勘定を含む）が72,024千円、差入保証金が43,227千円増加したことによります。負債については、前連結会計年度末と比べ9,186千円減少し、232,017千円となりました。主な要因は、未払金が45,469千円増加した一方で、賞与引当金が22,000千円、及び未払法人税等が17,670千円減少したことによります。純資産については、親会社株主に帰属する四半期純利益90,299千円の計上、及び期末配当金の支払31,551千円等により、前連結会計年度末と比べて58,498千円増加して1,251,648千円となり、自己資本比率は84.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、平成29年5月9日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

1. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	762,361	733,370
売掛金	325,420	248,893
仕掛品	5	4,067
前払費用	23,253	39,307
繰延税金資産	13,600	7,112
その他	5,271	7,510
貸倒引当金	△770	△110
流動資産合計	1,129,142	1,040,152
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	69,891	105,613
減価償却累計額	△31,404	△53,422
建物及び構築物(純額)	38,487	52,190
工具、器具及び備品	163,813	173,338
減価償却累計額	△126,529	△139,822
工具、器具及び備品(純額)	37,284	33,516
有形固定資産合計	75,771	85,706
無形固定資産		
ソフトウェア	107,224	164,220
ソフトウェア仮勘定	15,203	30,232
その他	46	46
無形固定資産合計	122,474	194,499
投資その他の資産		
投資有価証券	15,772	40,241
繰延税金資産	—	9,272
差入保証金	67,407	110,635
保険積立金	20,873	487
その他	3,163	12,692
貸倒引当金	△253	△10,022
投資その他の資産合計	106,964	163,307
固定資産合計	305,211	443,513
資産合計	1,434,353	1,483,665

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	25,420	17,544
未払金	77,021	122,491
未払法人税等	22,630	4,959
預り金	22,988	30,870
賞与引当金	24,100	2,100
株主優待引当金	1,805	—
資産除去債務	10,400	10,400
その他	31,840	6,250
流動負債合計	216,207	194,617
固定負債		
資産除去債務	24,700	37,400
その他	296	—
固定負債合計	24,996	37,400
負債合計	241,203	232,017
純資産の部		
株主資本		
資本金	276,289	276,482
資本剰余金	266,267	266,460
利益剰余金	650,857	709,604
自己株式	—	△99
株主資本合計	1,193,414	1,252,447
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△264	△799
その他の包括利益累計額合計	△264	△799
純資産合計	1,193,149	1,251,648
負債純資産合計	1,434,353	1,483,665

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)
売上高	1,149,764	1,266,767
売上原価	421,767	419,105
売上総利益	727,997	847,662
販売費及び一般管理費	566,217	731,445
営業利益	161,779	116,217
営業外収益		
為替差益	—	61
保険解約返戻金	—	17,592
講演料等収入	725	606
持分法による投資利益	1,180	—
その他	163	149
営業外収益合計	2,070	18,410
営業外費用		
為替差損	1,322	—
持分法による投資損失	—	4,378
その他	0	30
営業外費用合計	1,322	4,408
経常利益	162,527	130,219
税金等調整前四半期純利益	162,527	130,219
法人税、住民税及び事業税	54,236	43,000
法人税等調整額	4,467	△3,080
法人税等合計	58,703	39,919
四半期純利益	103,823	90,299
親会社株主に帰属する四半期純利益	103,823	90,299

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	103,823	90,299
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	507	△534
その他の包括利益合計	507	△534
四半期包括利益	104,330	89,764
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	104,330	89,764
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	マーケティング プラットフォーム フォーム	商流プラットフォーム フォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	762,226	387,538	1,149,764	—	1,149,764
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	762,226	387,538	1,149,764	—	1,149,764
セグメント利益	132,791	28,988	161,779	—	161,779

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	マーケティング プラットフォーム フォーム	商流プラットフォーム フォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	916,294	350,473	1,266,767	—	1,266,767
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	916,294	350,473	1,266,767	—	1,266,767
セグメント利益又は損失(△)	138,067	△21,850	116,217	—	116,217

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。